「６年　かがやき『ふるさとの福祉ー障害のある人に優しい町ー』」活動計画

☆池田町内や校区にある福祉施設調べや体験学習を通して、障害者のある人たちの気持ちや願いを理解し、思いやりの心で接していく態度を育てることができる。
☆課題を見付ける力・・・○情報を整理し、課題を追究する中で、新たな疑問や課題をもつことができる。
○自分の課題を追究するにあたって、時間配分をするなど、具体的に活動の計画を立てることができる。
☆課題を追究する力・・・○課題追究に適した方法を選びながら、自分に必要な情報を集めることができる。
○情報として得たことを用いて、自ら体験したり確かめたりすることができる。
○自分の課題に対して、様々な資料から考察することができる。
☆学び合う力・・・・・・○自分の主張が相手に分かりやすく伝わるように、構成を考えて表すことができる。
○自分の主張が相手に伝わるように、話す上での構成を考え、根拠を明らかにして話すことができる。
○話し手の意図を考えながら聞き、自分の調べた内容と比較して考えて自分の意見を述べ、自分の考えを深めることができる。

活動計画（全３５時間）　　この活動では、基本的に学年ＴＴで行う。

活　動　名	主　な　学　習　活　動	学習形態	学習材（物的・人的）	付　け　た　い　力
課題を見付ける ３時間	○ビデオを見て、感じたこと、疑問に思ったことをまとめる。 ○自分が調べたいこと、体験したいことを考えて課題を決める。 ○全体で話し合い、追究方法を考える。	一斉 ビデオ視聴 課題別グループ	町社会福祉協議会で借用したＶＴＲ 学習プリント わくわくルーム	○ビデオを見て、自分たちの生活と比べて、障害のある人の苦労や自分たちの町の施設に興味をもち、自分の課題を作ることができる。 ○自分の作った課題に対して、障害のある人の苦労を実際に体験したり、施設を訪問したりするなどの適切な追究方法を選ぶことができる。
課題を追究する ５時間	○車椅子や目隠しや体験セットを活用し、体の不自由な人の立場や思いが分かるように体験活動をする。 ○それぞれが自分の課題について調べ学習をする。	課題別 グループ 校外学習	車椅子(社会福祉協議会)、体験セット(健康福祉課) １・３階廊下、トイレ（段差）、 水道（車椅子が入らない）、坂、玄関 学習プリント１・２（学習活動計画他） 役場、中央公民館、図書館、社会福祉協議会、スーパーマーケット、ホームセンター、学校周辺道路	○車椅子に乗って学校に入ってみたり、目隠しをして学校内を歩いてみるなど、障害のある人の疑似体験を通して、苦労を実感することができる。 ○町の施設や店は障害のある人のためにどんな工夫をしているのか調べ、実際に体験したりして課題を追究したりすることができる。
調べたことを 発表する ２時間	○自分たちが調べたことや体験したことを、写真や映像を使ってまとめる。 ○それぞれがまとめたことを、交流する。	課題別 グループ グループ発表	ビデオ カメラ コンピュータ ＜例＞ Ｂ紙、実物、ペープサート、パソコン	○自分たちが調べたことや体験したことをビデオや写真で記録し、総合的な学習の時間の学習ソフトなどを使ってまとめたり、Ｂ紙にまとめたりし、視覚的な資料をもとに発表することができる。 ○自分の調べた内容と比較しながら発表を聞き、質問をすることができる。
課題を見付ける ２時間	○交流したことをもとに、自分の課題についてさらに調べてみたいことや深めてみたいことを考え、追究方法を決める。	個人	学習プリント３（個人学習計画表）	○仲間の発表をもとに自分たちの調べたことを振り返り、さらに深く調べるための課題を作ることができる。 ○自分たちの課題についてさらに深く追究するための方法を考え、適切な計画を立てることができる。
課題を追究する ８時間	○自分の課題に対して、調べる方法などを見直して、更に深く調べ学習をする。	課題別 個人	障害者の話（窓口：健康福祉課） 介護センターつくし、長良義肢、社会福祉協議会、役場、授産所、ﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰ	○実際に体験したり、その場に行って調べたりするなどして課題を追究することができる。
課題について まとめる ４時間	○調べた内容を、多様な方法を用いて発表用の資料としてまとめる。 ○それぞれの課題の発表を互いに聞き合い、学んだことをプリントにまとめる。	課題別 個人	コンピュータ Ｂ紙　画用紙　新聞形式のプリント その他必要となる材料など	○図や表、写真などを使って、調べた内容が伝わるよう工夫してまとめることができる。 ○自分の調べた内容と比較しながら、仲間の作品から学ぶことができる。
調べたことを 発表する ３時間	○発表交流会に向けて、資料の見直しや練習を行う。 ○自分が調べたことや体験したことを、自分で作成した資料を使って発表交流をする。	課題別 個人、グループ 個人	学習プリント４（発表交流会用） ビデオ カメラ コンピュータ　　その他 ホール（食堂） Ｂ紙、実物、ペープサート、パソコン	○自分たちが調べたことや体験したことをビデオや写真で記録し、総合的な学習の時間の学習ソフトなどを使ってまとめたり、Ｂ紙にまとめたりし、視覚的な資料をもとに発表することができる。 ○自分の調べた内容と比較しながら発表を見て、意見を述べることができる。
話し合い活動 ２時間	○体が不自由な人たちにとって暮らしやすい町といえるかどうか話し合う。 ○障害者が暮らしやすい町作りに向けて、自分たちの提言をまとめる。	クラス グループ	これまでに作成して使った発表用資料 写真や実物資料など	○自分たちが体験したことなどを基にして、自分たちの町が障害のある人にとって暮らしやすい町かどうか考え、意見を出し合うことができる。 ○今まで調べてきたことをもとに、自分たちの福祉活動について、いろいろな方面からまとめ、よりよい方法を考えることができる。
実践活動 ６時間	○自分たちができる福祉活動にはどんなものがあるのか調べる。 ○自分たちがやっていく活動を決め、どのようにやっていくか計画する。 ○自分たちの決めた福祉活動をする。	一斉 課題別（活動別） グループ	広報活動 つくし、授産所などでのふれ合い活動 介護活動 評価カード（「かがやき」ふりかえりカード＜終了時＞）	○今行われている福祉活動や自分たちができる福祉活動に興味をもつことができる。 ○自分たちができることを考え、活動計画を立てることができる。 ○自分たちができることを計画し、意欲的に活動することができる。